

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市水島障がい者支援センター
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市笹沖180番地 名称 社会福祉法人 倉敷市総合福祉事業団 代表者 理事長 藤澤 徳久
(3) 公の施設の所管部署	社会福祉部 障がい福祉課
(4) 評価対象期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	<p>安全性を保ったうえで、利用者の要望に応えた事業を実施している点は、評価できる。</p> <p>施設の努力により評価への影響が大きい「職員の対応」、「施設の清潔さ」、「安全対策」、「講座やイベントの内容」において、満足またはほぼ満足と感じている利用者が、いずれも95%以上であることは、評価できる。</p>	総合評価
		S
(2) 指定管理者の自己評価	<p>今年度は特にサロン活動や地域交流を意識して評価を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用者数は、カラオケ等のサロン事業を再開したことにより、コロナ禍から回復しつつある。 ・利用者の意見を聞き、簡単クッキングやうどんクラブなどを開催し、好評を得た。 ・バス旅行も再開し、ゆとりのある人数で、事故無く無事に実施できて、利用者は大変喜んでいた。 ・地域交流を目的とする「はばたきふれあい祭り」を4年ぶりに開催できた。ボランティアの高齢化で協力していただける方が減少しており、今後の開催内容・方法などが課題である。 ・「水島雛めぐり」への参加や地元町内会の会合に対して貸館を行うことで、地域の施設であることをPRした。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から検温・マスク着用・手指消毒等を任意ではあるが、利用者には実行を促したことにより、センターを媒介とした感染者を出すことは無かった。 ・障がい福祉サービスから介護保険サービスへの移行のためにケアマネージャーとの連絡・調整に努めた。 	
(3) アンケート結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・94%以上の利用者がセンター管理運営や職員の対応等におおむね満足しているとの回答であった。 ・みんなで歌う「わいわいカラオケ」やバス旅行を再開して利用者の要望に徐々に応えられるようになった。今後も感染対策をして行事の充実を図っていく。 ・アンケート結果については別紙のとおり。 	

3 施設の利用状況

	今年度			前年度			特記事項（前年比）		
	施設利用者		12,537人	11,124人		113%			
(1) 利用実績	相談支援	面接相談	2,294件	2,706件		84%			
		電話相談	2,243件	3,021件		74%			
		家庭訪問	297件	353件		84%			
		同行	55件	109件		50%			
		ケア会議	98件	101件		97%			
	相談支援合計		4,987件	6,290件		79%			
(2) 事業の内容	(1) 日常生活支援 (2) 在宅福祉サービスの利用援助 (3) 相談・情報提供 (4) 特定相談支援事業及び障害児相談支援事業 (5) 地域交流・啓発活動 (6) 障がい者及びその家族等の地域生活の支援								

4 収支（水島）

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	36,998千円	
	市からの指定管理料（委託料）	35,459千円	
	利用料金	1,432千円	
	その他の収入	107千円	
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	34,969千円	
	人件費	23,883千円	
	光熱水費	2,228千円	
	修繕料	307千円	
	消耗品費	899千円	
	施設管理委託費	650千円	
	その他経費	7,002千円	